

発言No. 1

受付No. 12

令和8年2月12日
17時15分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 3 番

氏名 岡山 令子

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 浜田市のふるさと納税について

- ① 浜田市のふるさと納税の現状と課題を伺う。
- ② クラウドファンディング型の活用状況について伺う。
- ③ ふるさと納税をきっかけとした関係人口との交流や取組について伺う。

2 浜田応援団について

- ① 浜田応援団の現状と課題について伺う。
- ② 浜田応援団の団員が集まるリアルイベントは行われているか伺う。
- ③ 浜田市民が浜田応援団に登録できない理由を伺う。

3 浜田郷土資料館について

- ① 浜田郷土資料館の整備に当たり、強化していきたい機能を伺う。
- ② 浜田郷土資料館で浜田の歴史・文化・産業などを網羅した形の「浜田市検定」を行う考えはないか伺う。

4 あいのりタクシー事業について

- ① あいのりタクシーの各地域での運用実態について伺う。
- ② あいのりタクシーの運用に当たり、まちづくり推進委員会へのサポート体制について伺う。
- ③ あいのりタクシー事業を行っているまちづくり推進委員会同士の情報交換がなされているかどうか伺う。

一般質問発言通告書

議席番号 18番

氏名 芦谷英夫

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、市民参加の市政運営について

- ①「市民の皆さんとの対話」とあるが、具体的な時期、対象はどのような地域団体なのか、対話の態様など具体的にどのように考えているのか。
- ②地方自治の主体者は市民であることから、市民との対話は重要であり、対話をより充実する意味からも、地域から意見や要望などを出していただく仕組みをつくり、市民との対話を実りあるものにする考えはないか。

2、石見神楽などによる浜田市の顔づくりについて

- ①石見神楽の振興は保存と伝承に加え、浜田市の顔づくりとしての発信が必要であり、拠点施設整備が一番待たれているが市長の考えはどうか。
- ②そのためにも石見神楽に加え、海と水産業、食、温泉などと結びつけ、市の観光主管課、観光協会、県観光連盟、DMO観光地域づくり法人など、改めて、これらの再編や連携の強化など観光推進の顔づくり、その体制を整える必要があるのではないか。

3、浜田市のにぎわいと元気づくりについて

- ①これまで指摘したとおり、身の回り品小売業、飲食料品小売業などの売り上げが下がり、事業者も減少しており、市民はこれらを求め購買力が市外流出しているが、改めて市長としてこれらの現状をどう認識しているのか。
- ②にぎわいと元気づくりを商工業と観光の面からとらえると、施政方針では、人材の確保、事業承継、新商品開発と販路拡大、食の魅力化などとあるが、これらについて、市長として精神論ではなく具体的にどのような施策を打ち出す考えか。

4、地域福祉の推進について

- ①社会福祉協議会では、課題として「活動の浸透度の低さ」と掲げられているが、社会教育、生涯学習を担当する「まちづくり社会課」としたように、地域福祉を地域で展開する部門、地区社会福祉協議会などが一体となった、協働のまちづくりに地域福祉を取り込んだ体制をつくる必要があるのではないか。
- ②地域に密着した福祉サービスが重要であり、ショッピングリハビリが県内でも広がっており、この介護サービスを実施する考えはないか。

5、ハラスメント対策の取組について

- ①人権を尊重するまちづくり条例、人権教育・啓発推進基本計画などによると、お互いの生き方や考え方を認め合い、人権が尊重される社会を実現するとされているが、改めてカスハラなどをなくすことを強く打ち出し、啓発事業を強化する考えはないか。
- ②カスタマーハラスメント対策も含め、ハラスメントの相談窓口の明確化、窓口の整備と充実をするなどの考えはないか。

6、国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の態勢について

- ①令和12年の大会に向け、競技場の整備、競技団体の育成や運営体制など、具体的な方針、年度計画などどのように進めるのか。
- ②かつてのくにびき国体では、花いっぱい運動など市民への理解を深める、協力を求める取組があったが、この大会について市全体に向け、市民に届くように具体的にどのように取り組むのか。

7、コミュニティスクールなど学校運営の状況について

- ①コミュニティスクールを実施してその評価が注目されるが、それは運営委員会の報告を待つとして、令和6年度から試行された取組も含め、教育委員会としてどのように評価しているのか。
- ②部活の地域移行は全体に対して、部活の種目、学校別、地域などどのように進んでいるのか。

一般質問発言通告書

議席番号 9 番

氏名 大谷 学

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 上水道事業の現状及び対応への取組について

(1) 有収率についての現状と他市との比較について

- ① 市街と郡部における過去5年間の現状は何%なのか、状況を伺う。
- ② 他市の状況と比較してどのように評価しているか認識を伺う。

(2) 戦略的漏水防止対策事業について

- ① 漏水防止に向けた検査や老朽管交換への体制や計画の状況を伺う。
- ② 空き家における止水管理の状況を伺う。

(3) 水質の外部評価について

- ① 宇都宮市上下水道局で作製した水道水をペットボトルにボトリングした商品「うつのみや泉水（せんすい）」がモンドセレクション金賞を受賞し、水道水が安心・安全でおいしい水であることを国際的に認めさせている。浜田市も外部評価に応募し市内外における認知度向上に取り組んでみてはと提案するが、認識を伺う。

2. 新規に実施される5歳児検診について

(1) 検診内容について

- ① 問診の中に「発達に関する設問」があるが具体的にどのような設問かを伺う。
- ② 問診の中に「情緒・行動に関する設問」があるが、具体的にどのような設問かを伺う。
- ③ 診察の中に「理解などを評価・判定」とあるが、何をどのように評価し何段階に判定するのか具体的に伺う。

(2) 検診にあたる人員体制について

- ① 医師、保健師、栄養士、教育委員会指導主事等の検診スタッフはどのような順で、あるいはどのような組み合わせで親子との検診に関わるのか流れを伺う。
- ② 検診スタッフの研修体制について伺う。

(3) 検診後の支援・指導体制について

- ① どのような体制を考えて準備しているのか認識を伺う。

3. シビックプライド（愛着と誇り）の醸成について

浜田は、いいところとの熱い思いが市民になれば定住・移住にはつながらない。

(1) 浜田版「日本遺産」としての「はまだ遺産」制度の検討に関する提案について

- ① 北海道には「北海道遺産」が、静岡県には「しずおか遺産」がある。岩手県遠野市には「遠野遺産」として次世代に残したい有形・無形の歴史文化遺産や地域のシンボルとなっている木や滝、洞窟などの珍しい地形など地域の宝として市民が推薦する制度がある。文化財指定のように要件が厳しくなく、市が独自に認定できることから自分の住んでいる地域を見つめなおし、改めてふるさとを知る機会となっている。施政方針にもある「主体的に地域にかかわる人づくり・地域づくり」にも通じる取組として提案するが、認識を伺う。
- ② 学校においても児童生徒が地域住民と推薦を検討することで、地域を知り、地域への誇りを感じる「ふるさと教育」につながると考えるが、認識を伺う。

4. 教育方針の内容について

(1) 「理数教育の充実」が示されなかった理由について

- ① 令和3年～7年までの過去4年間の教育方針においては「学校教育の充実」という項目の中に「理数教育の充実に努めてまいります」との記載があった。令和8年度の教育方針の中には記載がない。目的は果たしたということか、認識を伺う。
- ② 令和4年9月定例会議の個人一般質問において「理数教育の充実」については「理数科への進学者数の動向も評価指標の1つ」との意味の答弁が教育長からあった。その後の進学者数の動向をどのように受け止めているか、改めて認識を伺う。

発言No. 4

受付No. 10

令和8年2月12日

16時39分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 19番

氏名 佐々木 豊治

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 空家対策について

- ① 浜田市において危険空家の件数をどのように把握しているか伺う。
- ② 危険空家対策強化についてどのように取り組んでいるのか伺う。
- ③ 実際に改善や除去につながった事例はどれくらいあるのか伺う。
- ④ 改善の実効性を高めるための課題について伺う。
- ⑤ 令和5年(2023年)12月に「空家等対策特別措置法」が改正され、各自治体が所有者への助言・指導や命令・代行措置を導入できるようになり、より強い要請が所有者に対してできるようになったが、その効果について所見を伺う。
- ⑥ 解体に対する補助金について、特に危険空家が複数存在する市街地においては、補助率を上げたりする取組は考えられないか伺う。
- ⑦ 危険家屋を解体して更地にした場合、住宅用地特例による固定資産税の軽減措置が解除されることにより、税負担が増加する制度となっているが、先日視察した福岡県豊前市では、解体後の土地に対し、特例解除による増税分を軽減する制度を設けている。

危険空家対策の一助になっているようだが、参考に検討すべきと思うが、所見を伺う。

2. AI 活用のデマンドタクシーの取組について

- ① AI 活用の公共交通の検討状況について伺う。
- ② 参考にされようとしている事例があれば伺う。
- ③ あいのりタクシー事業の進捗と効果についてどのように評価されているのか伺う。
- ④ 熊本県荒尾市の令和2年度から AI を活用したオンデマンド型相乗りタクシー事業「おもやいタクシー」を視察した。

本事業は、2年間の実証実験を経て、利用者の予約情報を基に AI が配車および運行ルートを最適化し、複数の利用者が相乗りすることで効率的な運行を行い、市内全域を対象に実施している。予約はスマートフォンアプリまたは電話により受け付けており、幅広い世代が利用可能な体制を整えている。

運行時間は8時から17時までで、利用料金は300円から700円。2台のタクシーを活用し市内全域を運行エリアとしている。

本事業の実施により、路線バスでは対応が困難であった時間帯や地域における移動手段が確保され、市民の利便性向上が図られている。また、相乗りによる運行効率の向上により、公共交通全体のコスト抑制にも寄与しており、既存の路線バスを補完する交通手段として一定の成果を上げている。

利用者も年々増加し、始めた令和2年度は4千人だが令和6年度は1万6千人の利用となっており、3割が相乗りになっている。費用はシステム利用、オペレーターを含め1600万円。

参考にしてほしい事例と思うが所見を伺う。

3. 不登校対策について

- ① 国は誰一人取り残されない学びの保証に向けた不登校対策「ココロプラン」を令和5年に打ち出し、不登校対策として、これまでの「学校へ戻すこと」から、「学びの場を確保し、孤立させないこと」へと舵をきった。

ココロプランの柱は3つ、学びの場の確保、早期 SOS キャッチ、安心できる学校へと認識しているが、特に重要とされているのが「学校に行けない時間を、

学びがない時間にしてはいけない」という点とされている。

当市において、ココロプランの特に学びの場の確保についての取組を伺う。

- ② 不登校の子どもは年々急速に増加しており、特に島根県や当市においてもその率は高い状況にあると認識しているが、直近の現状を伺う。
- ③ そのうち、長期欠席の子どもが何人くらいいるのか伺う。
- ④ 不登校対策として早期の対策が重要とされているが、早期の対応をどのように行っているのか伺う。
- ⑤ 県は校内教育支援センターの支援員を配置する市町村を支援する事業を拡充している。校内フリースクールを施政方針では中学校への拡充としているが、来年度の配置状況を伺う。

4. 施設整備について

(1) 郷土資料館の建替えについて

- ① 施政方針にも建て替えに向け早急に取り組むとあるが、今後、どのような過程を経て建替え整備されようとするのか伺う。
- ② 建替え整備時期の見通しについて伺います。

(2) 石見神楽保存拠点施設について

- ① 石見神楽保存拠点施設基本構想検討委員会で最終的な議論を経て、「基本構想案」が今後示されようとしている。
構想案には「郷土資料館など他の文化施設等との複合施設とはせず、石見神楽に特化した拠点施設が望ましい」との方針が示されており、今後の整備の大きな論点になってくるものと思うが、どのように判断されていくのか伺う。
- ② 舞殿については拠点の象徴となる空間との表現で、重要な位置付けとなっている。ある程度は方針に沿った整備が必要と想定するが、所見を伺う。
- ③ 施政方針では、この施設整備については、さらに市民のみなさんの意見を聞いて判断するということだが、特に対象とされている市民像とはどのあたりなのか伺う。

5, 新たな県事業への取組について

(1) 有害鳥獣の捕獲の担い手確保・育成の事業について

- ① 緊急猟銃制度が施行され、そのガイドラインには「年2回以上の射撃訓練をしていること」とある。猟銃の技術向上のため、県外で行う散弾銃やライフル銃の射撃練習について県も助成を行うこととしているが、浜田市での取組を伺う。

(2) 企業向け外国人材のための日本語学習支援について

- ① 総合的な日本語学習機会について、学習コンテンツ配信事業者から動画による学習を受けられるよう提供される事業が始まる。
企業負担も少しあるようだが、該当の事業者に周知していくべきと思うが所見を伺う。

令和 8 年 2 月 13 日
10 時 31 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 15 番 氏名 小川 稔 宏

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

- 1 施政方針における多様な生き方・価値観の受け止め方について
 - ① 施政方針では、まちづくりや子育て、地域像について一定の方向性が示されているが、市民の生き方や価値観は多様化している。こうした多様な生き方を市としてどのように受け止めているのか伺う。
 - ② 「浜田らしさ」という言葉は、地域への誇りやアイデンティティを育む一方で、特定の生き方を前提としているように受け取られる場合もあり、表現には配慮が必要と考えるが、市長の考えを伺う。
 - ③ 「育ち、育てる、浜田」を進める上では、社会的に弱い立場の人や働く人も含め、誰もが尊厳を持って生きられる「人にやさしい街」という理念が重要だと考える。市長が描く「人にやさしい街」とはどのようなものか伺う。
- 2 農林業振興の前提となる安全な作業環境の保全について
 - ① 農業・林業の振興について様々な施策が示されているが、その前提条件である作業環境が鳥獣被害により深刻な影響を受け、耕作放棄や離職につながりかねない現状にある。農業・林業の担い手が安心して作業できる環境の維持について、市の考えを伺う。
 - ② 鳥獣対策については地域や区域を絞った対策や捕獲だけに頼らない体制づくりなどが進められている。限られた予算や人員の中では難しい面はあるが、人の安全を守ることを最優先し、作業環境の保全に向けた実効性ある鳥獣被害対策についての考えを改めて伺う。
- 3 就労支援を軸とした障がい者福祉の充実について
 - ① 障がい者福祉では理解促進や困難事例への対応が示されているが、共生社会の実現に不可欠な就労支援についての記載が見当たらない。障がいのある方の就労をどのように位置付け、支援体制を整えていくのか伺う。

4 コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりについて

- ①人口減少が進む中、将来的に消滅集落が生じる可能性は否定できない。コンパクト・プラス・ネットワークを進めるための立地適正化計画は作成途中ではあるが、行政効率化ではなく、市民一人ひとりの暮らしと尊厳を守る計画であるべきと考える。市としてどのようなまちの姿を目指すのか、基本的な考えを伺う。
- ②コンパクト化を進める中でも、中山間地域や集落に暮らす高齢者の買い物環境の維持は重要である。市としてどこまで関与していくのか伺う。
- ③医療機関が中心部に集中している現状を踏まえ、安心して通院できる交通手段をコンパクト・プラス・ネットワークの中でどのように位置付けているのか伺う。

5 カスタマーハラスメント防止条例について

- ①すべての労働者を対象とすることで対応が抽象化し、条例の実効性が弱まるのではないかとの懸念もある。この点について市の認識を伺う。
- ②雇用主として市が職員を守る責任と併せて、指定管理者や委託事業者への関与・支援について、どのように考えているのか伺う。
- ③条例の実効性を高めるため、マニュアルや運用指針など具体的なルールを整備する考えがあるのか伺う。

6 教育課題への対応と現代社会を生きる力について

(1) 「賢く縮む」教育体制づくりについて

- ①「賢く縮む」という言葉から、学校統廃合や人員削減といったマイナスの印象を持つ市民も少なくない。何を守るための取組なのか市としての考えを伺う。
- ②賢く縮む教育体制の中で、子どもの学びや育ち、教職員の働く環境について単なる効率化にとどまらない変化をどのように実現していくのか伺う。

(2) 非核自治体宣言と平和教育について

- ①非核自治体宣言を理念にとどめず、国際情勢が不安定化する中で、平和や核兵器の問題をどのように次世代へ引き継いでいくのか、教育方針との関係で伺う。
- ②被爆者の高齢化が進む中で、被爆体験や核兵器廃絶の思い、被ばく2世・3世の声を平和教育の中でどのように受け止め、子どもたちに伝えていくのか伺う。

発言No. 6

受付No. 5

令和8年2月12日

8時2分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 2番

氏名 今田 実延

答弁を求める者

(○をつける)

市長

教育長

監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 米海兵隊岩国基地からの飛行訓練について

(1) 飛行訓練の現状について

- ① 頻度・騒音レベル・被害状況について伺う。
- ② 訓練実施時の市民への周知方法について伺う。

(2) 旭中学校の防音対策について

- ① 現在の進捗状況について伺う。
- ② 本格工事の計画について伺う。

2 浜田市 DX 推進計画について

(1) セキュリティ対策について

- ① 浜田市 DX 推進計画の策定に伴うセキュリティ対策について伺う。

(2) 小中高生に対するネット犯罪の防止について

- ① 現状の学習内容について伺う。
- ② 若年者のネット犯罪防止対策について伺う。

3 浜田市の小学校に導入した蓄熱暖房機について

(1) 導入状況について

- ① 旭小学校に導入された蓄熱暖房機の現状について伺う。
- ② 旭小学校と同仕様の蓄熱暖房機の導入があった学校について伺う。
- ③ 今後のメンテナンス及び運用について伺う。

4 EV 充電器の設置について

(1) 導入状況について

- ① 設置される EV 充電器の仕様について伺う。
- ② EV 充電器の利用対象者について伺う。
- ③ 現在の利用状況について伺う。

(2) 今後の運用について

- ① 今後の高速充電器の導入について伺う。

5 本市におけるごみの処理について

(1) ごみの排出量と現状認識について

- ① 本市における家庭ごみ排出量の直近の推移と、現状の1人当たりの排出量の分析について伺う。
- ② リサイクル率の現状と課題について、市の認識を伺う。

(2) 缶の収集方法について

- ① つぶさずに回収する理由について伺う。
- ② アルミ缶とスチール缶の割合について伺う。
- ③ アルミ缶のみ潰す運用にした場合の費用対効果について伺う。

(3) ごみ処理経費と今後の見通しについて

- ① 本市におけるゴミ処理にかかる年間経費について伺う。
- ② 今後の施設更新や維持管理費の見通しについて伺う。
- ③ 市民負担の増加を抑えるための工夫について伺う。